

● 年間 15 億匹が取引

サンゴ礁に生息する観賞用に国際取引されている生きた魚は、米国への輸入データをみると過去20年間で約1,000種から2,300種に増加し、世界で取引される数も年間2400万～2700万匹から15億匹に増加したとされます。これらの数には輸送中に死亡した魚の数は含まれていません。

観賞用に国際取引されるサンゴ礁の魚のうち、米国の場合、商業的に繁殖が成功している魚は30～35種しかありません。つまり販売されているほとんどは野生の個体で、サンゴ礁の海から採取されているのです。

サンゴ礁の魚のうち、国際取引が規制されているのは、ワシントン条約附属書Ⅱに掲載されている、ナポレオンフィッシュ、クラリオンエンゼルフィッシュ、タツノオトシゴ属だけです。IUCNのレッドリストでも、サンゴ礁の魚のデータは不十分で、種の減少の実態は不明です。(1)

● アマノガワテンジクダイ

観賞用に国際取引されるサンゴ礁の魚の一つであるアマノガワテンジクダイ(プテラポゴン・カウデルニイ)は、縞と斑点の模様のある小型の魚で、観賞魚として人気があります。卵が孵化するまでオスの口の中で保護し、分散をしない性質があります。インドネシア東部の限られた海域に生息し、IUCNのレッドリストで危機(EN)に分類されています。ただしこの評価は2007年のもので、更新が必要となっています(2)。

過去にワシントン条約附属書Ⅱへの掲載が提案されましたが、掲載はされず、その代わりにインドネシア政府は持続可能な輸出をするための取り組みを行い、条約に報告することになりました。

インドネシア政府は海洋保護区の設定やメディアキャンペーン、養殖などを行っていますが、最新の研究では、地域個体群の絶滅が迫っていると指摘されています(3)。

● 取引実態の把握はこれから

2021年6月にオンラインで開催されたワシントン条約第31回動物委員会で、附属書掲載種以外の観賞用のサンゴ礁の魚の取引実態をどのように把握すべきかが議論されました(4)。対策が急がれるテーマです。

- (1) CoP17 Prop. 46
- (2) IUCNレッドリスト 2021年7月9日確認
- (3) Ndobe, S., Handoko, K., Wahyudi, D., Yasir, M., Irawati, Y., Tanod, W. A., & Moore, A. M. (2020). Monitoring the endemic ornamental fish *Pterapogon kauderni* in Bokan Kepulauan, Banggai marine protected area, Indonesia. DEPIK Jurnal Ilmu-Ilmu Perairan, Pesisir dan Perikanan, 9(1), 18-31; Wiadnyana, N. N., Suharti, S. R., Ndobe, S., Triharyuni, S., Lilley, G.R., Risuana, S., Wahyudi, D., & Moore, A. M. (2020). Population trends of Banggai cardinalfish in the Banggai Islands, Central Sulawesi, Indonesia. IOP Conference Series: Earth and Environmental Science, 420(1), 012033
- (4) AC31 Doc. 31 (Rev. 1)



撮影：2010年8月27日 撮影地：座間味 Photo:M.Hirose

JWCS 認定特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

設立：1990年 NPO法人格取得：2001年 認定取得：2014年

名誉会長：小原秀雄(女子栄養大学名誉教授) 会長：小川潔(東京学芸大学名誉教授) 副会長：森川純(酪農学園大学名誉教授) 事務局長：鈴木希理恵
理事：小林邦彦(総合地球環境学研究所研究員) 永石文明(㈱エコロジープラス) 並木美砂子(帝京科学大学教授) 古沢広祐(国学院大学客員教授)
監事：高橋智史(フォトジャーナリスト) 顧問：岩田好宏(元・中学高校教諭) 山極壽一(前京都大学総長)

〒180-0022
東京都武蔵野市境1-11-19 モウトAPT102
Tel&Fax: 0422-54-4885
E-mail: info@jwcs.org http://www.jwcs.org

【会費・寄付のご送金先】
郵便振替 00160-9-715145
加入者名 野生生物保全論研究会
正会員年間 5000円

表紙：アマノガワテンジクダイ

JWCS通信 2021年度通巻93号

2021年7月発行
発行人＝小川潔
編集＝鈴木希理恵
デザイン：土肥優子

